



© 京都水族館



© 旭川市旭山動物園



© 愛媛県立とべ動物園

2025年度 第7回動物園水族館大学シンポジウム

動物園 ・ 水族館

が拓く

未来の保全



© 海の中道海洋生態科学館



© 西海国立公園九十九島水族館



© 沖縄美ら海水族館



© わんぱくこうち
アニマルランド

開催日

2026年

2/22・23
(日) (月祝)

会場

滋賀県立
琵琶湖博物館
&
オンライン配信

生息域内外をつなぐ
新たな挑戦



© 認定NPO法人京ネオ保全トラスト・ジャパン



© NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄



© 横浜市立金沢動物園

詳細は裏面

主催：京都大学 野生動物研究センター 後援：環境省、(公社)日本動物園水族館協会
共催：

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院、滋賀県立琵琶湖博物館、京都市動物園、名古屋市東山動植物園、(公財)横浜市緑の協会 (よこはま動物園、野毛山動物園 金沢動物園)、熊本市動植物園、高知県立のいち動物公園、(公財)日本モンキーセンター、わんぱくこうちアニマルランド、愛媛県立とべ動物園、広島市安佐動物公園、名古屋港水族館((公財)名古屋みなと振興財団)、京都水族館、西海国立公園九十九島水族館、沖縄美ら海水族館

テーマ

動物園・水族館が拓く未来の保全—生息域内外をつなぐ新たな挑戦

人間活動や気候変動が、野生動物の生息地に深刻な影響を与えている。生態系の劣化が加速的に進行し、絶滅の危機に瀕する種も増加している中で、生物の多様性を守り、絶滅危惧種を保全するためには、域外・域内保全を両輪で進めて行く必要がある。本シンポジウムでは動物園・水族館などが実施する域外保全、域内保全、野生復帰の取り組みについて紹介する。

プログラム

2/22(日) 1日目 口頭発表・ポスター発表

11:30-	開場		
12:00-	開会 開会の言葉		
12:05-12:25	「ニホンイシガメにおける生息域外保全の試み」 北本圭一(愛媛県立とべ動物園)		
12:25-12:45	「沖縄美ら海水族館におけるウミガメ類の緊急保護と野生復帰」 河津 勲(沖縄美ら海水族館)		
12:45-13:00	休憩		
13:00-13:20	「アオウミガメの保護から放流までの取り組みについて」 泉 徹耶(西海国立公園 九十九島水族館)		
13:20-13:40	「金沢動物園の保全活動 動物園の森で生物多様性を守る」 先崎 優(横浜市立金沢動物園)		
13:40-14:00	「マヌルネコの繁殖」 堀場桃美(名古屋市東山動植物園)		
14:00-14:15	休憩		
14:15-14:45	総合討論		
14:45-15:00	ポスター紹介		
15:00-15:10	会場移動		
15:10-16:20	ポスター発表		

2/23(月祝) 2日目 招待講演

9:30-	開場		
10:00-	開会の言葉 招待講演		
10:05-10:45	「ヤンバルクイナの明日を作る One Plan Approach」 長嶺 隆(NPO 法人 どうぶつたちの病院 沖縄)		
10:45-11:25	「小笠原群島のシロワニ調査」 中村雅之・鈴木鴻之(マリンワールド海の中道)		
11:25-11:40	休憩		
11:40-12:20	「保全のプラットフォームを目指して：ボルネオから北海道まで、グローバルとローカルな取り組み」 坂東 元(旭山動物園)		
12:20-12:50	総合討論		
12:50-	閉会のあいさつ		

お申し込み 参加締切 2/5(木)まで ※定員に達し次第締切

どなたでもご参加いただけます！
動物園水族館大学のwebページから
お申込みください。

定員：会場 200名、オンライン 300名



※琵琶湖博物館展示室をご覧いただく場合、別途入館料がかかります
※Zoomでの配信を予定しておりますが、技術的な問題などにより、当日ご視聴いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください

<https://forms.gle/SXd1a8jheGhqCkyi7>

会場

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091
滋賀県立琵琶湖博物館

JR 琵琶湖線「草津駅」から
近江鉄道バス
「琵琶湖博物館行き」約 25 分

※バスは 1 時間に 2 本程度です
混みあう可能性があるため、
早めにお越しください



お問合せ・詳細



京都大学
野生動物
研究センター

<https://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/projects/za/>

メール
zoouniversity@wrc.kyoto-u.ac.jp